

マーケットの動き（2020年8月3日～8月7日）

先週の国内債券市場は、ほぼ横ばいとなりました。

4日の10年債入札を無難に通過し同利回りは一時0%まで低下したものの、マイナス金利を買い進む勢いはなく、週後半にかけて失速しました。結果、前週と同水準で取引を終えました。

クレジット市場は、決算発表期で新発債の発行が少なくなる中、買いが優勢となりました。

投資環境見通し（2020年8月）

長期金利はレンジ内で推移

日銀は7月の金融政策決定会合で、市場の予想通り金融政策の維持を決定するとともに、「新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、必要があれば躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じる」とのフォワードガイダンスを提示しています。ただ副作用への懸念からマイナス金利の深掘りは困難とみられ、引き続きYCC（イールドカーブ・コントロール）が継続されるとみえています。また、新型コロナウイルス対策の大規模な財政支出に伴う国債増発が超長期ゾーンを中心とした金利上昇圧力になると考えられますが、日銀は国債の無制限買入を決定していることから、大幅な金利変動要因とはならないと考えています。長期金利は引き続き狭いレンジ内での動きになるとみえています。

	8月7日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.00	▲0.00	▲0.03	0.05	0.21
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	387.67	▲0.06%	0.41%	▲0.84%	▲1.89%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

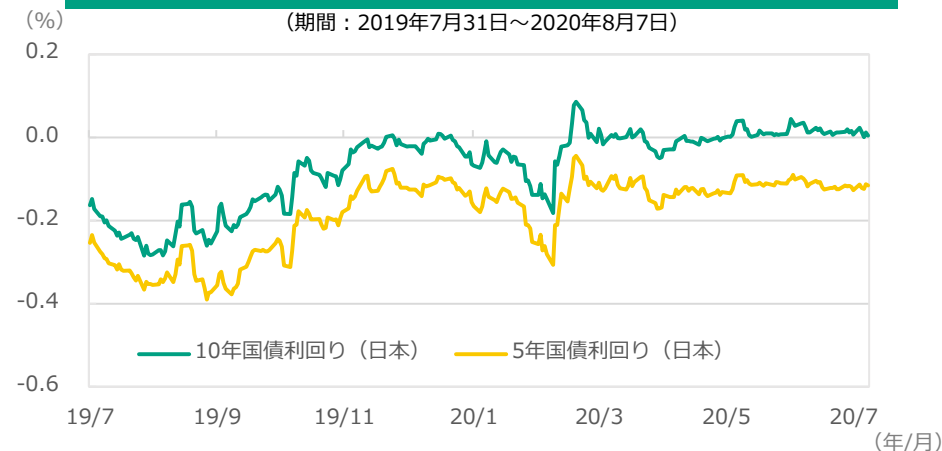
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202008_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2019年7月31日～2020年8月7日）



野村BPI総合指数の推移

（期間：2019年7月31日～2020年8月7日）



※2019年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成